

一人ひとりの花を咲かせるために
— 地域で精神障害者の自立を支えよう —

精神障がい者を雇用して

有限会社奥進システム 代表取締役 奥脇 学



レジュメ

- 弊社の業務紹介
- 一緒にはたらく事例紹介
- 職場実習の受け入れについて
- 障がい者とはたらく環境作りと雇用管理



弊社の業務紹介

- Web技術を利用した業務管理システム開発業
- 開発事例紹介
- 複数のパソコン、スマホ、などで使用するのが得意
- どこからでもシステムを使える便利さが受けてます



一緒ににはたらく事例紹介

- システム開発＝分散開発可能
- 在宅勤務ベース（SOHO、母子家庭、障がい者）
- 残業禁止（経営ポリシー）
- スタッフ7人中5人障がい者



一緒ににはたらく事例紹介

- 1人目:(退職):難病、足の障がい?
 - 2人目:身体障がい者1級(頸椎損傷):入社7年目
 - 3人目:身体障がい者1級(頸椎損傷):入社6年目
 - 4人目:(退職):身体障がい者(視覚、4級)
 - 5人目:身体障がい者(じん臓、1級):入社3年目
 - 6人目:精神障がい(2級):入社2年目
 - 7人目:精神障がい(2級):入社1年目
- 実習は、福祉施設、支援学校、関連団体から受入れ
(発達障がい、精神障がい、知的障がい)

一緒にはたらく事例紹介(1人目)

- 1人目: 身体障がい者
- ハローワーク経由
- 手帳をみたこともない。助成金の申請もせず
- 完全在宅お互い自宅勤務(月に一度会議)
- 一度退職、事務所を構えてから再入社
- 配慮、定時退社のみ。再び退職。



一緒にはたらく事例紹介(2人目)

- 2人目: 身体障がい者
- 大阪市職業リハビリテーションセンターから
- 在宅希望で
- 身体障がい者(下肢)、上肢機能、1級
- 状態がとても悪く、働けるとは思えない
- 本人面接で、「社会と関わる最後のチャンス」



一緒にはたらく事例紹介(2人目)

- 実習へ
- できる限りのことを施設と相談
- (実習を受入れる自信無し)
- 課題を与えて週一訪問、施設内実習
- (実習の不安軽減)
- 技術レベルは問題なしを確認
- (役に立ちそう)
- 本人のやる気はとても高く頑張ってくれそう
- (仕事への意欲:雇用へ決断!!!)

一緒に はたらく 事例紹介 (6人目)

- 6人目 : 精神障がい者
- 大阪精神障害者雇用支援ネットワークから
- 精神障がい (2級)
- 薬を複数服用
- 企業実習をいくつかこなしている
- 元システムエンジニア、発症の職種



一緒ににはたらく事例紹介(6人目)

- 実習へ
- 業務としてのプレッシャー
- (負荷をどれぐらいかけられるか?)
- 配慮しなければいけないポイント
- (配慮の仕方がわからない)
- 本人の障がい理解レベル(試行錯誤)
- 本人のやる気の問題(仕事のコントロール方法)
- 雇用へ決断(施設さんのバックアップの安心感)

障がい者とはたらく環境作り(身体)

- 最初はトラックボール導入から
- 書類整備、ノート取り
- 食事、飲み物の用意
- 室温
- 足の移動、尿のつまり、霧吹きなど
- 奥進システムの工夫
- バリアフリーな事務所(スタッフ限定)
- 整体準備と会社内での整体出張許可



障がい者とはたらく環境作り(精神)

- 半強制的な休憩時間
- 30分ルール
- 仕事の一本化
- 短期区切りフォロー
- 電話対応
- 残業なし



障がい者とはたらく環境作り

- 在宅勤務
- 短時間勤務
- 1ヶ月変形労働時間
- 睡眠時間、体調、状態を日報で管理
- 定着支援システムの導入
- 支援機関の利用、相談



精神障がい者を雇用して

- 波があることを理解する
- 自己理解できることの手助けを一緒にする
- 配慮は常に試行錯誤
- 会社でできること、自己管理してもらうことを明確に
- 支援機関、家族、医療の利用、相談



最後に

精神障がいがある人も
支援があれば働きつづけられるはず！！

ご清聴ありがとうございました。

